

## 地域公共交通サービス最適化調査検討業務について

### 1 業務概要

本市では、「地域交通の持続的な提供」が地域公共交通の最大のテーマであるとの認識のもと、将来的にも安定した交通サービスの確保と維持が必要であると考えています。

その上で、本市の今後の地域公共交通政策に関しては、「小牧市地域公共交通計画（令和7年3月策定）」に掲げる目指す姿「地域の活力と交流をはぐくみ、安心・便利な暮らしを支える持続可能な公共交通」を実現するため、地域の特性や課題、ニーズに的確かつ柔軟に対応していくことが必要です。

こうしたことから、既存の公共交通機関に新たな交通手段を加え、地域旅客運送サービスの持続可能な提供に向け、広域連携も視野に、地域にとって最適な公共交通のあり方について検討を行っていきます。

### 2 業務の実施

#### (1) 業務内容

##### ① 地域公共交通の現状の調査

###### ・地域公共交通の調査

運行状況、利用状況、財政負担額等の公共交通の現状把握を行うほか、各種ビックデータを分析し、人の動きについて実態の調査を行う。

###### ・地域公共交通に関するニーズの調査

地域公共交通についての潜在需要を把握するためのアンケート調査を行う。

###### ・先行事例の調査

新たな交通手段について、先行事例を調査分析する。

###### ・無人自動運転移動サービスの整理

令和5年度から令和7年度にかけて実施した自動運転実証調査における検証結果を踏まえ、こまき巡回バス「こまくる」への無人自動運転移動サービスの導入方針を整理する。

## ②地域公共交通のあり方の検討及びロードマップの作成

### ・地域公共交通のあり方の検討

上記調査結果及び別事業にて実施する名鉄小牧駅から小牧山のアクセス向上につながる簡易的なシェアサイクルの実証実験の結果に基づき、既存の公共交通機関とともに、中長期的な視点から、各地域の特性を踏まえた、持続可能な地域旅客運送サービスの検討を行う。

### ・ロードマップの作成

こまき巡回バス「こまくる」の次期再編(令和13年度を想定)までの短期的なロードマップとそれ以降の中長期的なロードマップを作成する。

## ③令和9年度実証実験の運行概要の企画立案

②において作成したロードマップに基づき、既存の公共交通機関に加えて必要に応じて導入の検討を行う、新たな交通手段及び二次交通について主に下記内容を企画する。

### ・新たな交通手段の導入検討

運行エリア／運行方式／車両サイズ／台数／実施期間／運行日／運行期間／予約方法／料金等

### ・二次交通の導入検討

対象エリア／ポート配置(主要な出発地・目的地等)／モビリティの選定／台数／実施期間／運行日／運行期間／予約方法／料金等

## (2)業者の決定方法

令和8年度の実施事業について、指名競争入札により委託事業者を決定する。

## 3 今後のスケジュール(予定)

6月1日	事業者決定(入札)
6月9日	事業着手
秋頃	地域公共交通会議 (令和9年度実証実験内容について意見をいただく予定)
3月下旬	結果の取りまとめ